

12月議会報告ニュース

日本共産党三郷市議会議員 工藤ちか子



来年度の予算要望書を市長に提出、懇談しました（11月18日）

議会は十日間で行われ、補正予算をはじめ19議案のうち16議案に賛成しました。いずれも議案は可決されました。

18歳までの子ども医療費無料化が実現

「子ども医療費支給に関する条例」が全会一致で可決、来年度から子ども医療費が18歳まで拡充し医療費の窓口払いがなくなります。保護者や市民団体の方々の長年の要望であり、繰り返し議会に取り上げてきましたが、市民の運動でやっと実現の運びとなりました。埼玉県内では27自治体で実施しており、近隣の5市1町では初めてとなります。

市長はじめ3役の給与引き上げに反対

副市長・教育長は特別職手当（20%）があります。今年度から期末手当を0.1ヶ月分引き上げるとは、物価高騰等で苦しむ市民の理解はえられないとして反対しました。

一般会計補正予算に賛成

臨時交付金を活用して所得200万円以下の世帯に一律2万円の給付を実施します。燃料費等の物価高騰に対応したもので賛成をしました。なお交付金約2億5千万円を活用しています。その他、保育所等にも支援金が支給されます。

やすらぎ荘廃止に反対

みさと団地内の設置されている老人憩いの家（やすらぎ荘）が今年度を持って廃止されます。多くの方が利用している施設は老朽化が進み建て替えができないという結論ありきです。住民への説明もなしに拙速だと反対しました



シルバー元氣塾に参加
10月下旬に市政施行50周年の記念イベント。介護予防の取り組みなど充実していきたいと思います。



生活相談会に参加
市内の民主団体が生活相談会を毎年開催、久しぶりに来訪者の血圧を測定。健康相談などを実施。



二郷半用水沿い緑道
地域住民の憩いの場となっている緑道。四季折々の風景を見せられます。緑道の保存を。

子ども家庭センターの設置

昨年の市長選挙で木津市長が掲げた「子ども家庭センターの設置」と保育士の配置基準について質問しました。

A：子ども家庭庁設置法が成立したことに伴い自治体としての実施を宣言したもので設置法には「子どもの年齢及び発達の程度に応じ、その意見を尊重し、その最善の利益を優先して考慮する」とあるが対象となる子どもの年齢は？

Q：全ての妊産婦と子育て世帯を対象としたものであり、子どもは18歳未満まで。

保育士の配置基準の見直しを

A：子どもの最善の利益を優先するのであれば1948年前から変わらない保育士の配置基準を引き上げるべきではないか？

Q：現在独自の補助として正規職員に対し、月額3万円を補助している。先進自治体の取り組みなど調査研究していく。

三郷市独自の補助だけでは、保育士の配置を増やすことはできません。抜本的な配置基準の見直しを国・県に求めていくべきです。

*質問・答弁は一部を抜粋・省略しています

国の配置基準	子ども	保育士
0歳児	3人	1人
1・2歳児	6人	1人
3歳児	20人	1人
4・5歳児	30人	1人



第9期介護保険事業計画の策定には利用者の負担軽減策を

厚生労働省の審議会では来年度に向けて制度改正の見直しが議論されておりますが、保険料額の引き上げや利用料の2割負担の対象者を広げること。要介護1・2の方を介護給付から外して地域総合事業に移行するなど、利用者や関係者にとってサービス削減と負担増となる内容です。

工藤議員は、制度創設以来の改悪と批判されている見直しが議論されている。地方自治体から反対の声を上げるべきだと求めました。また、利用料の負担軽減のために実施している利用料の補助制度は決算額で約27万円しか使われていない予算配分を引き上げて、利用料の負担を軽減するべきだと要望しました。

都市軸道路三郷流山線：桜並木の保存を

吉川市境に位置し、東西に伸びる（約1km）の彦糸工区の道路整備工事について住民説明会がありました。この道路は東京電力の鉄塔が設置されており高電線を中央分離帯に設置し、道路の幅員は約29mになる予定です。近隣の住居に何らかの影響が及ばないのか？またその対応について市に問いました。また桜の木（約100本）をできるだけ残すように要望しました。

市は交通状況の変化を踏まえ必要に応じて対応していく。桜並木を可能な限り保存するよう県に要望していく。と答弁しました。

生活相談・法律相談・お気軽に

日頃から住民の皆さんの相談にのり、暮らしやすい三郷市にする活動もしています。お悩みの方は下記にご連絡ください。

発行元：工藤ちか子

電話&FAX 048-958-8821

ureds_chikako@yahoo.co.jp